

# やるぞ！一期生

公立一貫校・屋代高付属中の初年度

<9>

「予想通り九州地方に比較的多く上陸して  
いました」。講義室のスクリーンに、  
1年A組の小澤一步君(13)がパソコンを  
使ってまとめた資料を映し出し、分析調査  
の結果を解説する。内容は1951(昭和  
26)年からこれまでに日本に上陸した台風  
の都道府県別の数。鹿児島、高知、和歌山  
の順に多いと紹介した上で、「日本海側よ  
りも太平洋側により多く上陸していること  
も分かった」と加えた。

1月30日と31日、2 レゼンテーションに適  
月4日の3日間、屋代 した文章構成などの技  
高校付属中学校で行わ 術を駆使し、各自が興  
れた独自授業「科学リ 味のあるテーマに沿っ  
テラシー」の発表会。 て画像や図形を交えた  
1年生80人が授業で学 資料を作成し、発表会  
んだ図書館の活用法や に臨んだ。  
パソコンの使い方、プ 持ち時間は1人1分

## 科学リテラシーの発表会 表現力を身に付ける

間。テーマは「長野の  
りんご」「前田利家の  
生涯」「南極での音の

を調査したB組の恩田  
万悠子さん(13)は、  
家庭科で勉強した和服  
に着目し、訪問着と付  
を調べなかった理由を  
質問されて「インタ  
ーネットから入手す  
る画像は」著作権が気  
に



発表後の質疑応答で議論を深める生徒たち

科学リテラシーは、  
ほかの授業で習った内  
容や関心をもった事柄  
を掘り下げることで、  
表現力や思考力、探究  
力といった力を付ける  
のが目的。ただ生徒の  
中には、書籍やインタ  
ーネットを参考にした  
だけで十分に調査・分  
析しないまま発表し、  
同級生の質問に答えら  
れずに議論が深まらな  
いケースもあった。

発表を見守っていた

科学リテラシー担当の

谷口徹博教諭(32)は

「厳しい質問のやりと  
りを通じて、一方通行  
ではない表現力が身に  
付く」と指摘。発表会  
の経験が2、3年時に  
取り組むグループ研究  
や個人研究につながる  
ことを期待している。

広がりや音の強さにつ  
いて」と多岐にわたっ  
た。「和服の種類と柄」

け下げの違いを調  
べて、手書きのイラス  
ト入りで発表。他の生  
徒から着物の写真画像  
を使ったので自分で描き  
ました」と答え、情報  
の活用にも気を配った  
ことを説明した。

科学リテラシーの発表会